

蕨 2 広報WARABI

2014/平成26年
わらび・752

- 平成26年2月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 1月1日現在人口：72,229人 前月比 +7人
男 36,712人 女 35,517人
世帯数：35,719
人口密度：14,162人/km²



「鬼は～外！福は～内！」 みんなで楽しく豆まき大会

子どもたちの力強い声があふれる北町児童館。1月23日、季節の行事に触れてもらおうと、一足早く行われたのが節分の豆まきです。参加した30組の親子は、新聞紙を丸めた手作りの豆を元気に投げつけ鬼を退治。交流を深めながら今年一年の健康を願いました。

～今月の特集～

- わらび
市政スポット

わ
WARABI

わらび

市政スポット

まちの情報を
発信します



大田原市のトコトコ大田原での調印式の様子(津久井富雄大田原市長・左、頼高英雄蕨市長・右)

今の特集・市政スポットでは、蕨市で現在、どのような事業や取り組みが行われているのかをお伝えします。ご紹介するのは、栃木県大田原市との間で締結された災害協定、着実に進められている道路交通環境の整備、市民活動団体と市が手を取り合って開催された協働提案事業の3つの話題についてです。

栃木県大田原市と 災害時相互応援協定を締結

より災害に強いまちづくりを進めようと、昨年12月25日に大田原市(津久井富雄市長)と「災害時における相互応援に関する協定」を結びました。これにより、蕨市が自治体間で締結した災害協定は、平成8年の群馬県片品村、24年の静岡県湖西市に続き3つ目となり、災害時の更なる支援体制が拡充されました。

大田原市は、被害想定地震が蕨と異なるため同時に被災する可能性が低い上、両市は直線距離で約120キロと相互応援にも対応しやすい位置関係となっています。また、機まつりや宿場まつりといった蕨市内での催しに大田原の皆さんが参加するとともに、蕨の皆さんも大田原市を訪問するなど、市民間での交流が進展していることも両市を結びつけるきっかけとなりました。

この協定により、大規模な災害が発生した場合に、被災し

Voice!

更なる交流のきっかけに

蕨なごみネットワークの代表世話人として大田原市との市民間交流の調整に努めています。みんなで何度も行き来しているまちとの災害協定の締結はうれしいものです。これを機にもっと親交を深めていきたいですね。



たかはし ひろし
高橋 昊志さん
北町1丁目・70歳

ていない協定市が食糧や物資の提供、職員の派遣、被災者の一時受け入れなどの応援を行うことが定められました。

市では今後も、企業や団体、自主防災組織をはじめとする地域の皆さんとも連携を深めながら、有事の際にも、より迅速かつ的確に対処できる体制の整備を進めていきます。



那須家伝来の宝物も展示される与一伝承館

大田原市ってどんなまち？

栃木県北東部に位置する大田原市は、那珂川や八溝山系の森林など、豊かな自然に囲まれたまちです。かつては奥州街道の宿場町として栄え、那須与一ゆかりの地としても知られています。また、日帰り温泉などの観光資源にも恵まれています。人口約76,000人、市域面積354.12平方キロメートル。



安全な通行を確保する 道路交通環境の整備が進展

市 では、交通安全団体の皆さんや警察など力を合わせ、交通事故のないまちを目指して、さまざまな取り組みを行っています。

その一つが、「ゾーン30」の整備です。ゾーン30とは生活道路において、歩行者などの安全を確保するために、区域を定めて、自動車の最高速度を時速30^{キロ}に規制する交通安全対策です。住宅が密集している生活道路も多い南町の一部（実施箇所は下の地図参照）に、今月、交通規制標識などが設置され、市内で初めてこの規制が実施される区域となります。制限速度を守って、安全運転を心がけてください。

一 方、錦町4丁目の市道車歩行車道として整備されました。自転車は車道の左側を走るのが原則ですが、この歩道上には自転車と歩行者の通行路を示したサインゲートが備え付けられており、自転車マークの下の空間は双方向で

の通行が可能です。なお、自転車どうしで擦れ違う際は左側を走行してください。また、歩行者と自転車が通行する部分を区分けする植栽のなかには地域の宝・わらびりんごが植えられるなど、皆さんに親しまれる道路となっています。今後も、こうした区域や道路などの整備を含め、いっそう安全で安心な道路交通の環境づくりを促進していきます。

Voice!

地域ぐるみで意識向上を

毎朝、南小学校の周辺で児童の登校の見守り活動をしています。交通安全につながる整備が進むと、地域に安心が広がります。私たち市民一人ひとりも、より意識を高めて、交通事故のないまちにしていきたいですね。



にわ ともこ さん
南町3丁目・73歳

車・自転車・歩行者が分離され、より安全に

※…は来年度以降施工予定 ※□内は平成27年度実施予定

写真は整備完了後のゾーン30のイメージです

市民と行政が力を合わせて 協働提案事業を実施

今 年度、「蕨市市民参画と協働を推進する条例」に基づき、協働事業提案制度が創設されました。これは、市民活動団体がそれぞれの特性を生かした事業を提案し、それを市と協働で実現することで地域課題の解決を図る制度です。今年度は5団体から提案があり、そのうち2つの事業の実施が決定しました。

その一つがNPO法人子育て応援クラブむくむくによる「自分らしく働きたい母親を応援する事業」です。同事業は



20の体験ブースが常に満席になるほどの大盛況でした

「起業を目指す女性のためのフェスティバル」と題され、1月19日に文化ホールくるるで開催。講演や起業の体験ブースの出店などが行われ、来場者200人にとって、育児と両立できる働き方について考えるよい機会となりました。なお、もう一つの事業、はたごっこの皆さんによる「機織り体験教室」は、市内の各小学校で順次実施されています。

Voice!

協働で広がるまちの展望

起業に興味があったので、会場に足を運んでみました。私にとって、これから何をすべきか参考になった一日でした。今後も、市と市民が手を取り合って地域について考えれば、更に住みやすいまちになると思います。



ふくし みほ さん
塚越6丁目・30歳



レポート そここが知りたい

〈97〉

税の申告受付開始 今月中旬から3月17日まで

今月中旬から、税金の申告受付が始まります。皆さんの税金は、住みよいまちづくりを進める上での貴重な財源です。今月は、税金の申告についてご紹介します。

SKIPシティ（川口市上青木3-12-18）で、13日から3月17日まで開設されます（図1参照）。

市・県民税の申告は中央5丁目自治会館

皆さんが住んでいる地域のために負担していただく税金が市・県民税（住民税）です。この申告が必要な人は、今年の1月1日現在、蕨市に居住していた人、または、市内に事務所・事業所・家屋敷のあった人です。ただし、確定申告をした人や収入が給与のみ、公的年金のみの人のうち、支払者から支払報告書が提出済みで、所得控除の追加がない人は、申告をする必要はありません。

国に納める所得税及び復興特別所得税の申告は確定申告です。この申告が必要な人は、給与を2か所以上から受けている人や個人事業主などです。また、医療費控除や住宅ローン控除など、所得税の還付を受ける場合も申告が必要となります。申告会場は、川口市の

出義務はありませんが、国民健康保険税や介護保険料などの算定、各種行政サービスなどに影響するため、申告をお願いします。なお、単身赴任で離れて暮らしている家族や、就学により遠方で生活している子どもなどに対して、常に生活費の送金を行っているなど、一定の要件を満たす場合には、同居していない親族も扶養控除の対象となります。市・県民税の申告は、17日から3月17日まで、自治会館（図2参照）で受け付けます。その他、東・下蕨・南の3つの公民館

図1 所得税及び復興特別所得税の確定申告受付会場と日程

SKIPシティ（川口市上青木3-12-18）

日程 = 2月13日～3月17日
※土・日曜日は休み（2月23日・3月2日は受付可）
時間 = 午前9時～午後4時

図2 市・県民税申告受付会場と日程

自治会館 = 2月17日～3月17日
※土・日曜日は休み（2月23日・3月2日は受付可）
時間 = 午前9時～午後4時

表1 出張申告会場と日程

2月26日 27日	東公民館	午前9時～午後4時
3月5日	下蕨公民館	午前9時～正午
3月6日	南公民館	午前9時～午後4時

に出張申告会場を設置します（日程は表1参照）。**必要な書類の確認を申告は郵送でも可能**

申告には、印鑑、源泉徴収票などの昨年中の収入や所得を証明できる書類、控除対象となるもの（国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、国民年金保険料、生命保険料、地震保険料、医療費など）の領収書や証明書が必要となります。身体障害者手帳や療育手帳、学生証などをお持ちの方は、控除を受けられる場合がありますので、申告の際には、必ず提示してください。

なお、医療費控除を受ける場合は、支払金額の合計と、保険金等で補填された金額の事前の集計が必要となります。各申告会場は混雑が予想されますので、余裕を持ってお出かけください。申告書は郵送でも提出することができま

- 情報ダイヤル**
- 掲載は無料。申し込みは秘書広報課（☎433・7703）へ。
- 【譲ってください】
- ▼大正琴 使用頻度は不問取りに伺います 価格は応相談（稲森・☎447・6038）
 - 【見に来ませんか】
 - ▼ひかり幼稚園創立50周年記念コンサート（ロバの音楽座）22日 午後2時 市民会館
 - ▼なたでも参加可（森上・☎443・2849）
 - 【仲間になりませんか】
 - ▼蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500円～2000円（未就学児は年間1000円）年中・小学生（小泉・☎090・4948・5936）
 - ▼デッサンクラブ「イースト」第1・3木曜日 午前9時半 東公民館 4000円（3か月分）幼児の同伴は不可（星野・☎442・8029）
 - ▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料（井上・☎442・0259）
 - ▼竹紫館剣道教室 3月の毎週土曜日 午前9時半 同館 満5歳以上（浅野・☎080・9660・1946）
 - ▼ABCキッズ（幼児英会話）月3回水曜日 午前10時 北町公民館か旭町公民館 月2300円 未就園児（入田中・☎447・1839）

まちの安全願う出初式



1月12日、消防本部で「蕨市消防出初式」が開かれました。大地震を想定した消防職員による救出訓練や消防団の放水訓練のほか、小学生防火ポスター展の表彰式などを実施。参加した206人は、防火意識を高めながら災害に強いまちづくりへの決意を新たにしました。

笑顔が輝く節目の祝典



新成人の門出を祝う、蕨発祥の祝典・成年式が1月13日、市民会館で開催されました。新成人による「青年の主張」や「20歳の誓い」の発表などが行われ、出席した425人(対象692人)は、旧友や恩師との再会を楽しむとともに、大人としての自覚を深めていました。

門出を祝う新春餅つき



1月15日、総合社会福祉センターで、「新年・新成人を祝う会」が開かれました。同施設に通う障害者の皆さんが威勢のよい掛け声とともにきねを振り、ついたお餅は12結。参加者102人は、出来たてのあんこや辛み餅をいただきながら、3人の新成人をお祝いしました。

食を通じた異文化体験



諸外国の料理を楽しむ教室「グローバルキッチン」が、1月25日、東公民館で開かれました。この日挑戦したのはバナナの春巻きやチキンの煮込みといったフイリピン料理。参加した12人は、力を合わせて作った料理に舌鼓を打ちながら異文化への理解を大いに深めました。

快走ロードレース大会



1月26日、「蕨市民ロードレース大会」が第一中学校と大荒田ランニングコース周辺で開かれました。小学生から大人まで576人が性別や学年別、親子の部など9部門に分かれ、2キロ、3キロ、5キロのコースを力走。家族らの声援を背に日頃鍛えた健脚を発揮していました。

ま・ち・の・話・題

このまちに暮らして



フィリモン
ダニエルさん

ルーマニア
南町2丁目・36歳

ルーマニアのシビウ出身のダニエルさんは3年前に来日し、蕨に住み始めました。都内のカフェで働く傍ら、同郷の奥さんと奮闘中なのが2歳のエドワードくんの子育てです。積極的におむつを換えたり、公園で遊んだりするイクメンパパは、

「蕨は安全。安心して子育てできます」と、にっこり。そんなダニエルさんが心待ちにしているのが南町桜並木の開花です。来日後、初めて桜を目にし、その美しさとはかなさに魅了されたそうで、「今年も家族で花見をしたいですね」と、話していました。

この数な～に 103店舗

今月13日から15日までの3日間、市内全域がわくわくした雰囲気包まれる催しが開かれます。それはにぎわいあるまちづくりを更に進めていこうと、市内で初めて行われる「蕨★街バル」です。バルとはお酒や軽食が楽しめるお店のことですが、幅広いかたに楽しんでいただきたいと生花店や美容室など103店舗(1月27日現在)が参加します。各店舗とも特別メニューを用意している街バル。皆さんも楽しみながら、地域の魅力を再発見してみませんか。詳細＝同事務局(☎048・783・2643)

- ▼土曜ダンス教室 月2回土曜日 午後1時 中央公民館 月2200円 初心者歓迎 入原・☎44・5754
- ▼蕨中東カントリークラブ 土曜日 午前11時と午後1時 市民体育館 月3000円 成人 初心者歓迎 入高橋・☎080・6690・2121
- ▼蕨ミニバスケットボールクラブ 月・木曜日 午後5時 土曜日 午前9時 市民体育館ほか 月1500円 小学生 入橋本・☎090・5415・9170
- ▼【参加しませんか】 初心者剣道教室 2月の毎週土曜日 午後5時 市民体育館 小学生 基礎を楽しく指導 入らび剣友会・岡田・☎090・5396・2416
- ▼健康講座「認知症ってなに」 20日 午後1時 市民会館 3000円 入平田・☎090・3131・9399
- ▼ダンスパーティー 6日・20日・27日 午後1時 文化ホール くるる 499円 入犬塚・☎41・7373
- ▼日帰り旅倶楽部 成田山で学ぶ写経と散策 4月12日 1000円(別途写経代) 説明会あり 入岩本・☎090・3431・4295
- ▼【ご相談ください】 蕨断酒会(酒害相談) 4日 中央公民館 12日 南公民館 20日 旭町公民館 午後7時 入八津・☎090・2522・8688

読書活動の推進に向け 環境整備が進む 小・中学校の図書室

子どもたちの読書活動の場として人気がある学校図書館(以下図書室)。市では、学校図書充足率100%の実現に加え、今年度から各中学校区に司書資格を持つ学校図書館教育支援員を配置し、環境の充実に努めています。今月はその概要を紹介します。



経験豊富な支援員が子どもたちの読書活動をサポート

親と子の ニュースの 小窓

今年度から司書資格持つ支援員を配置

お母さん あらっ、学校から、また本を借りてきたの。ずいぶん熱心ね。
ワラビ 図書室の先生に教えてもらったシリーズ物を読んでいるんだ。
お母さん 今年度から学校図書館教育支援員として、本の分類や貸し出し、案内などの専門的な資格を持つ司書の人に来てくれているのよね。

ワラビ 週1回ぐらい来てくれるんだよ。本にとっても詳しいんだ。いっしょに会いに行こうよ。
支援員 こんにちは。私たち支援員は各中学校区に一人ずついるんですよ。
お母さん 第一中学校区(一中・南小・中央小・中央東小)、第二中学校

区(二中・西小・北小)、東中学校区(東中・東小・塚越小)と3人いるのね。
支援員 はい。図書室は、自由に読書や調べ物ができる重要な施設なので、みんなが有効に活用できるように心がけています。
ワラビ 楽しくて役立つ本がたくさんあるよね。
支援員 どの小学校も8000冊以上、中学校は1万冊以上の蔵書をそろえ、23年度から全小・中学校の学校図書充足率が100%になっています。
お母さん 朝読書に全小・中学校で取り組んでいた「藤子子ども読書活動推進計画」が策定されたりと環境の整備が着実に進んでいるんですね。

専門知識を生かして読書の魅力伝える

お母さん 支援員の皆さんは、日頃はどんな業務を行っているんですか?
支援員 司書教諭や図書ボランティアの人と協力して、本の分類や貸し出しをしたり、年齢や季節に
区(二中・西小・北小)、東中学校区(東中・東小・塚越小)と3人いるのね。
支援員 はい。図書室は、自由に読書や調べ物ができる重要な施設なので、みんなが有効に活用できるように心がけています。
ワラビ 楽しくて役立つ本がたくさんあるよね。
支援員 どの小学校も8000冊以上、中学校は1万冊以上の蔵書をそろえ、23年度から全小・中学校の学校図書充足率が100%になっています。
お母さん 朝読書に全小・中学校で取り組んでいた「藤子子ども読書活動推進計画」が策定されたりと環境の整備が着実に進んでいるんですね。



休み時間には多くの児童が図書室を利用しています(南小学校)

休み時間に図書室へ行く友達が増えているよ。
支援員 それはうれしいわ。ほかにも購入本の選定に関わっています。昨年には、図書展示会が市内で初めて行われました。
お母さん 児童が手に取って読んでみて、好きな本に投票したんですね。
支援員 はい。モデル校として中央小だけの開催でしたが、情報は全校で
共有し購入に役立てています。好評だったので、来年度も開催する予定です。
ワラビ 楽しみだな。
お母さん 本を身近に感じると興味を抱き、更に読書への意欲が湧くわね。
支援員 読書は表現力や文章力などを磨くだけでなく、考える力や創造力も養うことができます。みんなも図書室をどんどん利用してくださいね。

ほっと・エッセイ 67

栃木県大田原市と災害時相互応援協定を締結

市長 頼高英雄



昨年12月、栃木県大田原市と災害協定を締結しました。大規模災害時には自治体どうしの助け合いが重要なことから、蔵の防災にとってたいへん有意義な協定と考えています。協定実現には市長どうしの合意が欠かせないことから、市長のトップセールスとして、大田原市の津久井市長さんとともに市長会の会議などでお会いした際に協定のお話をさせていただきました。

同時に、この協定を实效性のあるものにしていく上では、日頃からの市民交流がたいせつです。幸い、昨年来、蔵市民と大田原市民との交流がとて豊かに広がっています。わらび機まつりでは大田原名産のアユの塩焼きや牛串の販売があり、宿場まつりには、「都会のお祭りを体験しよう」とバスでツアーを組んで参加してくれました。蔵の皆さんも大田原市を訪問し、牧場でのバーベキューや畑での収穫体験などをしています。

都市部にある蔵市と農業や畜産業が盛んな大田原市で、お互いのよさを生かし、双方にプラスになるようなウィン・ウィンの関係で交流が発展することを期待しています。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は6日。ただし、3月は13日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



子どもクラブ 武道の心と楽しさ学んだよ!

たんぼぼ 保育園

たんぼぼ保育園の5歳児クラスは、毎年、塚越剣友会(町田純会長)の皆さんに剣道を教わっています。今年度も月1回、正座や礼、素振りのしかたを学び、最終日の1月20日は面打ちに初挑戦しました。りりしい防具姿で「メーデー」と力強く打ち込む子もいれば、遠慮して優しく振る子など個性はさまざま。でも、その爽快感に「気持ちよかったです」と大満足の29人は、最後に今までの感謝の思いを礼にしっかりとこめることができました。春からは1年生。剣道で学んだ礼儀作法や正しい姿勢がきつと役立ちますね。



わが家のアイドル

ゆいちゃん (2歳4か月)

あらい新井 かずなり一成さん
みわ美和さんの

長女 南町2丁目

-502-

「2歳を過ぎて、身の回りのことを自分でできるようになってきた袖衣。自分でご飯を食べたり着替えをしたりと、その成長ぶりに喜びを感じています。最近では、大人のまねをするのが大好きで、私を料理していると、近くでそのままのご飯作りが始めます。出来上がると、『どうぞ』と優しい声で、お気に入りの人形や私に食べさせてくれるんですよ。そんな袖衣には、これからも優しく元氣な子に育ってほしいです」と、母親の美和さん。

と

ときめきホルモン

私の造語です。恋をする、好きな俳優やアイドルを応援する、好きな映画を観る、スポーツ観戦で熱狂する。こんな心

かるた DE ヘルスケア



蔵市立病院 柴田優子 医師

が盛り上がる時、体の中では成長ホルモン、男性ホルモン、女性ホルモンが分泌を増やすことが分かっています。これらのホルモンはいずれも若返りのホルモンと言われ、うれしいという感情だけでなく、老化にも抵抗力を付けてくれるありがたいホルモンが分泌されるのです。「病は氣から」と言いますが、「キレイも氣から」です! 柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



心地よい音色を奏でる長澤さん

輝いています

ひと

ジャンベ奏者

ながさわ 長澤 葉子 さん

ジャンベの魅力を伝えたい

西 アフリカの伝統的な民族楽器「ジャンベ」。木をくりぬき、ヤギの皮が張られた円筒形の太鼓からは、心を躍らすような陽気でリズムカルな音色が弾け出します。「ジャンベは人の心を開いてくれる楽しい楽器」と語るのは、ジャンベ奏者の長澤葉子さん（錦町6丁目）です。「ドゥン」「トン」「カン」と低・中・高の3つの音を組み合わせ、リズムを生み出すこの楽器。長澤さんがジャンベと出会ったのは3年前です。幼少の頃から音楽に親しみ、長年続けてきた電子オルガンででした。でも、どこかもの足りなさを感じていた、そんなと

き、ふと参加した教室で目にしたのがジャンベでした。リズムだけで演奏でき、老若男女、国籍も問わず、音だけで一体感に包み込むこの楽器に瞬く間に魅了されました。その後、国内外で活躍するギニア人奏者に師事。一から指導を仰ぎます。現地では主に男性がたたく楽器で、大きく濁りのない音を出すのは経験者でも難しいジャンベ。最初は苦労の連続で、指先が切れ、まめが出来ること、日常茶飯事でしたが、それでも音をたたき分ける感覚をつかむため練習を重ねました。今では、「きゃしゃな体のどこからその音が?!」と仲間には驚かれることも。外見からは想像できない力強さと心地よい響きが長澤さんの持ち味です。現在はイベントなどに出演する傍ら、音楽を通じてアフリカの文化や現状にも関心を抱いてもらいたいと、都内の小学校を訪れるなど活動の幅を広げています。

中央公民館でも練習する長澤さん。「ジャンベを背負う姿を見たら声をかけてくださいね」。更に「もつと腕を磨いて蔵でも演奏できたら」とにっこり。この先も音を楽しむ体現者として、アフリカンミュージックの風を吹き込みます。

紹介します！皆さんの市民活動

メッセージ



おくやま 奥谷 盛昭 団長

合唱を通して広げたい 地域に笑顔と歌声の輪

蔵混声合唱団は、下蔵公民館で開催された「合唱講座」の受講生の有志によって、平成4年に誕生した市内初の混声合唱団です。現在は20代から80代まで、幅広い年代の26人が在籍し、毎週水曜日の午前10時から正午まで、同館で混声4部合唱を中心に練習に励んでいます。

活動のモットーは、楽しく歌うこと、そして、歌声のあるまじさを目指すことです。市民合唱

キラリ!! みんなの力

～蔵混声合唱団～



みんなで歌うと自然に笑顔が広がります

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎45・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。

祭や下蔵地区の生涯学習フェスティバルなどで、年に数回、日頃の練習の成果を披露しているほか、例年3月には、ひな祭りに合わせて、さくら保育園で園児たちと歌を通じた交流を重ねています。こうした発表の場では、ミュージカルを取り入れるなど、団員も観客も笑顔になれるように趣向を凝らしています。

このように、私たちは仲よく楽しく活動しています。合唱団と聞くと、敷き居が高いと感じる人もいるかもしれませんが、歌が好きであれば音楽経験を問わず大歓迎です。興味がある人は、副団長・額賀（☎432・5217）までお問い合わせください。